

2019 学校経営計画

佐野市立三好小学校

I 教育目標

心身ともに健康で、知識基盤社会を個性豊かにたくましく生きぬく児童の育成

- 自ら学びくふうする子供（自主性・創造性・向上心）
- 強くたくましい子供（体力・気力）
- 仲よく助け合う子供（豊かな心・思いやり・共生）

II 学校経営の理念

- 1 学校は、すべての児童にとって居がいのある楽しい場所でなければならない。

常に児童を中心に据えた教育を原点とし、絶えず児童に寄り添い、一人一人の願いや思いを丁寧に把握しながら、児童のよさを認め励まし、自信と意欲をもたせていく教育活動を展開していくことが大切である。教師の児童に対する温かい眼差し、豊かな感性に基づく接し方、そして児童の気持ちや考えを聴きとっていこうとする教師の地道な姿勢が、児童の人格形成の基盤にも結びついていく。

- 2 児童一人一人の個性や能力を認め伸ばしていくことは、教師の使命である。

教育目標の達成を目指した教育活動を通して、分かる喜び、できる喜びを児童に感じさせるとともに具体的な児童本人の姿を通して、認め励ましていくことによって自信と意欲をもたせていくことが大切である。

- 3 学校教育は、教師と児童・保護者・地域との信頼関係の上に成り立つものである。

信頼関係は日頃のコミュニケーションを大切にするとともに、教師自身の日々の研鑽によって人間性や専門性、社会性を磨いていくことで築き上げられていく。そのためには、児童一人一人のよさを生かす教師の指導力の向上、さらには学校の教育活動を推進していく組織力の強化が必要不可欠なことである。「チーム三好小」（仲間としてのつながり）、「風通しのよい職場」（教職員の学び合い）を合言葉に、教職員が一枚岩となって取り組むことが大切である。

III 学校経営の方針

- 1 体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した能動的学習を重視するとともに、児童の言語に対する関心や理解を深め、言語活動の充実と表現力の育成を図る。
- 2 主体的に学習に取り組む態度やコミュニケーション能力の向上を図り、生き生きと自己表現できる児童の育成や個性を生かし自己肯定感を高める教育の充実に努める。
- 3 友だちのため、クラスのため、学校のためにできることを考え、仲間とともに自律的なよりよい集団にしようとするリーダーシップの育成を図る。
- 4 一人一人を認め生かす児童指導を推進し、豊かな心の育成やよりよい人間関係の構築に努めるとともに、特別な支援を必要とする児童の実態を把握し、インクルーシブ教育の理念の下、適切な指導や支援を行い最善な成長を促す。
- 5 「あいさつが元気で礼儀正しい子」、「校舎から歌声の響く学校」、「ふるさとが誇れる子の育成」を目指し、特色ある教育活動の展開に努める。
- 6 全教育活動を通して生命と人権を大切にすることを推進し、児童一人一人が健康で安全な充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一丸となって児童の教育にあたる。

- 7 教師自ら人間性を磨き、たゆまぬ研修と実践によって教育専門職としての資質の向上に努めるとともに、教職員全てが個性やアイデアを生かして教育活動や学校経営に関わる組織づくりに努める。
- 8 三好小として最後の1年間をより充実したものになるよう、家庭・地域社会とさらに連携を深めて、地域人材の協力により体験とふれあいの場を設け、地域の文化や伝統を愛し感謝する心情を育てる。

IV 目指す学校像

- 子供たちにとって
「今日も学校が楽しかった」（満足感）・「明日も早く学校に行きたい」（期待感）
- 保護者にとって
「我が子を三好小に通わせてよかった」（安心感）
- 地域住民にとって
「三好小のために何か協力したい」
- 教職員にとって
「三好小の職員として勤務の充実と誇りをむねに」

V 学校経営の努力点と具体策

1 自ら学びくふうする子供	(1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力、判断力、表現力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の基本的な考え方や教育内容の理解 ・主体的に学習に取り組む態度の育成 ・T Tによる指導、少人数指導、振り返り学習の実施等による個別指導の充実 ・ねらい、ふりかえりを明確にした分かる授業の展開 ・話し合い活動や教え合う活動などグループ学習の工夫 ・みどりの時間の基礎学習とチャレンジタイム旬間の指導の工夫 ・家庭学習の習慣化 [学年×10分+30分] と自主学習の充実のための指導改善、保護者との連携
	(2) コミュニケーション能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科における言語に関する指導の充実 ・記録、報告、説明、論述、発表、討論等多様な言語活動を通しての言語力の育成 ・豊かな言語を習得するための言語環境の充実（優れた図書に親しめる環境、語彙力を伸ばすための読書のすすめ、掲示資料の活用、伝統文化や季節の言葉にふれる教材の工夫等） ・「みどりの時間」や集会における読書に親しむ活動や発表・音読・群読などの表現活動の工夫
	(3) 情報教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育の実践 ・ICTを活用した学習活動の充実

		<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの育成
	(4) キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩や地域の方、プロを招いての授業実践や心に残る感動体験の場の設定 ・自己の生き方について考え、将来への夢をはぐくむことができる授業の実践
	(5) 校内研修の充実と教職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校研究課題による自己研修の推進と成果の共有（ミニ研修会と出張報告会の実施） ・積極的な授業公開と授業研究により指導技術の共有と向上
2 強くたくましい子供	(1) 安全指導・安全管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導の徹底（登下校指導の強化） ・実践的で実効性のある避難訓練の実施 ・危機管理マニュアルの見直しと施設・設備や通学路の安全点検の強化 ・活動前の安全確保（WBGT等）の活用
	(2) 体力づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の指導の充実（運動量の確保） ・自己記録の更新を目指すマラソントイムの記録の工夫 ・各種検定（鉄棒、竹馬、一輪車、ランニング、なわとび等）の実施 ・オリンピック・パラリンピック教育等との関連
	(3) 健康教育、食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康がんばり賞、いいねバッチでの賞揚 ・家庭と連携しての早起き・早寝・朝ごはんの徹底 ・食に関する指導の充実（栄養教諭による授業実施）
3 仲よく助け合う子供	(1) 道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の個性を生かす場の設定 ・元気なあいさつの習慣化（合言葉「あかるく、いつでも、さきに、つづける」の浸透） ・道徳科の指導の工夫改善 ・異年齢集団による交流活動の充実・改善
	(2) 人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も友達も大切に作る気持ちの育成と行動の実践 ・互いに信頼し合う人間性豊かな集団づくり ・心を育てる体験活動の充実
	(3) 学校と家庭、地域が一体となったいじめ防止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめゼロ」「元気なあいさつ」のための学校全体の取組強化 ・児童会が主体のいじめ防止とあいさつ運動の取組 ・保護者や地域と連携した、いじめ防止とあいさつ運動の推進

4 特色ある学校づくり	(1) 集大成を飾る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の歴史を大切にするとともに、今を充実させる教育活動の実践 ・あそ野学園義務教育学校に向けてスムーズな接続のための指導の充実
	(2) 合唱指導を通して豊かな心の育成と「校舎から歌声の響く学校」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の時間での歌唱指導の強化と音楽の楽しさを味わわせる指導の工夫（「校舎から歌声の響く学校」づくり） ・「みどりの時間」を活用しての教育活動の展開 ・歌う場、時間の確保
	(3) 花のあるきれいな学校	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育てる学級花壇の整備 ・季節感のある学校花壇の整備と教室環境の整備
	(4) 教職員の個性を生かした学級経営、教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・個と集団を生かした指導の工夫 ・児童と向き合う時間の確保 ・教育活動への児童のアイデアを生かした取組の推進 ・教職員のもつ特徴を発揮できる教育活動の実践